

平成 26 年度

信州大学学生募集要項

私費外国人留学生入試



**SHINSHU
UNIVERSITY**

平成26年度信州大学入学者選抜日程の概要

－ 私費外国人留学生入試 －

学部等	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続	入学式
人文学部	1/6(月) ～1/10(金)	2/6(木)	2/13(木) 10時	3/7(金) ～3/15(土)	4月4日(金)
教育学部	1/27(月) ～2/5(水)	2/25(火) ～2/26(水)	3/6(木) 16時		
経済学部	1/7(火) ～1/15(水)	2/6(木) ～2/7(金)	2/12(水) 16時	2/13(木) ～2/28(金)	
理学部	1/20(月) ～1/24(金)	2/21(金)	3/6(木) 15時	3/7(金) ～3/14(金)	
医学部医学科	1/6(月) ～1/10(金)	2/25(火) ～2/26(水)	3/6(木) 10時	3/7(金) ～3/15(土)	
医学部保健学科		2/26(水)			
工学部	1/16(木) ～1/23(木)	2/13(木)	2/19(水) 16時	2/20(木) ～2/27(木)	
農学部	1/27(月) ～2/5(水)	2/25(火)	3/6(木) 10時	3/7(金) ～3/15(土)	
繊維学部		2/21(金)			

個人情報 の 利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

目 次

I アドミッション・ポリシー

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 信州大学アドミッション・ポリシー | 2 |
| 2. 各学部のアドミッション・ポリシー | 2 |

II 私費外国人留学生募集要項

- | | |
|--------------------|----|
| 1. 募集人員 | 8 |
| 2. 出願資格 | 9 |
| 3. 出願手続 | 9 |
| 4. 選抜方法等 | 13 |
| 5. 学力検査等の実施日程及び検査場 | 16 |
| 6. 合格者の発表 | 17 |
| 7. 入学手続 | 17 |
| 8. 納付金の納入等 | 18 |
| 9. 障害がある方の事前相談 | 18 |
| 10. 入試情報の開示 | 19 |
| 11. その他 | 20 |

III 各学部検査場案内

IV 入学志願票の記入例

【添付書類等】

- 入学志願票
- 受験票・写真票
- 入学検定料納付確認書（A票）・入学検定料領収書（B票）・振込依頼書（C票）
- 出願書類等郵送用封筒（志願者から志望学部入試事務室あて）
- 受験票等送付用返信封筒（志望学部から志願者あて）
- ラベル票
- 実技検査（音楽）受験曲目届（教育学部音楽教育コース志願者用）
- 実技検査（美術）受験種目届（教育学部図画工作・美術教育コース志願者用）
- 実技検査（運動）選択種目届（教育学部保健体育コース，地域スポーツコース，野外教育コース志願者用）
- 志願調書（医学部医学科志願者用）

I アドミッション・ポリシー

1 信州大学アドミッション・ポリシー

(1) 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探求し解決する能力を備えた人材を育成します。

また、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は、このような教育の理念・目標を実現するために、以下のような資質を備えた人たちの積極的に受け入れます。

- ・ 人間と自然を愛し、人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・ 多様性を理解し受け入れ、独自性を大切にすること
- ・ 社会・環境・国際問題に関心をもち、世界に貢献したいと考える人

(2) 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各学部の特성에応じた適切な方法で多様な入試を実施し、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

2 各学部のアドミッション・ポリシー

(1) 人文学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/>)

理 念

信州の大自然の織りなす四季のもと、都会の喧噪とほどよく距離をたもちつつ、時代や人間を見る確かな目と、他者や自然と共生できる豊かな感性をはぐくむ教育を行います。複雑多様化し混迷する現代社会のあらゆる局面で、不断に根源的な思索を試み、それらに批判的・創造的にかかわっていくことのできる「実践知」を身につけた、新しい時代の人文人（ネオ・フマニスト）を育成します。

教育目標

人文学部では「実践知」を、その教育目標に掲げています。「実践知」とは、知を運用する力、機動する知であり、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力を指します。

具体的には、以下のさまざまな力などをまとめ、一言で表した言葉が「実践知」です。

◎心と思考の実践知

- ・ 自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
- ・ 変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
- ・ 過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
- ・ 異質・多様なものを理解し、寛容かつ多元的に判断することができる受容力

◎技と行動の実践知

- ・ 情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
- ・ 他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
- ・ グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力
- ・ 領域横断的な事柄に対する問題解決能力および独創的な企画構想能力

求める学生像

人文学部は、教育目標「実践知」を習得するために必要な素養を備えた、次のような人たちの積極的に受け入れます。

- ・ 人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術などに興味や関心を抱く人
- ・ それらを探究し表現することに喜びを感じる人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

人文学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記「求める学生像」の観点を満たす人であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入試センター試験で得意な3教科3科目(又は4科目)

を選び受験することを可能にしつつ、個別学力検査では特定の教科・科目に限定されない「総合問題」を課しています。また、後期日程では、大学入試センター試験で5教科（又は6教科）7科目を課し、総合的な基礎学力を問いつつ、個別学力検査では特に読解力や表現力等を問う「小論文」を課しています。

従って、前期日程・後期日程とも、特定の教科・科目に偏ることなく、高校までに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

(2) 教育学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

理 念

教育学部は、信州の恵まれた自然環境と教育を尊重する県民の気風や風土の中で、豊かな人間性と専門的知識及び実践に培う基礎的能力を身につけた、明日の教育を担う人材を育成します。

このため、附属学校園との一体化はもとより、教育委員会や諸学校との連携を深め、地域や家庭との協力のもと実践的な知の体系としての「臨床の知」の理念を核にした教育をめざします。

教育目標

教員養成の伝統と実績を踏まえ、「臨床の知」の理念のもとに、高度な専門知識と実践的な教育技術を身につけ、豊かな教養と創造性に溢れた教育者を育成します。

求める学生像

信州大学教育学部は、学部の基本理念や教育目標に基づき、次のような力を備えた学生を求めています。

- 1) 明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために十分な基礎的学力
- 2) 豊かな人間性や実践的指導力を養うために不可欠なコミュニケーション能力
- 3) 教育者として社会の発展に寄与しようとする強い意志と教育への強い関心
- 4) 他者との協調性と他者への思いやりの心

大学入学時までに身につけておくべき教科・科目等の内容

特に義務教育機関の教員は、各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と学力を身につけていることが求められています。このため、教育学部では、高等学校において、教科の学習を通して、次のような学力を身につけておくことを望みます。

教 科	身につけておくべき内容
国 語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力 また、現代文、古文、漢文における確かな知識・理解
地理歴史 公 民	各科目における基礎的な知識及び多面的・多角的な見方や考え方
数 学	基礎的な知識と技能、及び基本的な数学的思考方法 特に数学及び理科の教員免許取得希望者については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の個々の項目の内容の理解
理 科	各科目における基礎的な知識 特に理科の教員免許取得希望者については、「物理Ⅰ及びⅡ」、「化学Ⅰ及びⅡ」、「生物Ⅰ及びⅡ」、「地学Ⅰ及びⅡ」から2科目以上の修得・個々の項目の内容の理解
外 国 語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュニケーション能力
情 報	情報処理における基礎的な知識と技能
家 庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識と技能
音 楽	基礎的な音楽的表現力 特に音楽の教員免許取得希望者については、読譜力及び聴音能力
美 術	基礎的な造形能力及び想像力、構想力、創造力、鑑賞力
保健体育	体育やスポーツに対する意欲、基本的な運動能力 特に保健体育の教員免許取得希望者・スポーツ指導者を目指す学生においては、多様なスポーツを経験するための運動技能と基礎的体力

(3) 経済学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>)

理 念

信州大学経済学部は、「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトにした研究教育を実践しています。このコンセプトの下、社会・地域・海外とのネットワークを形成し、現代日本の経済・社会の解明を焦点とする専門研究と教育を実践しています。また、異分野との協力体制を積極的に推し進めることで、現代社会が抱える先端的課題に、積極的かつ主体的に取り組んでいます。

教育目標

- 1) 信州大学経済学部は、社会諸科学の専門教育を踏まえ、激変する現代社会環境の中で、時代に流されず、主体的にその変化に対応出来る能力を持った個人、とりわけビジネスリーダー等、経済社会の構造変化を見据えた問題発見・解決型の実践的な企業人・組織人の育成を目指します。

そのために、以下の内容の教育を行います。

- ① 情報収集・発信リテラシー、コミュニケーション能力を基盤とする基礎的職業能力の育成
 - ② 企業人・社会人として必要な実践的能力の育成
 - ③ 時代を観る目の涵養
 - ④ 職業的倫理観と市民的公共観の涵養
- 2) 信州大学経済学部は、企業人講師等による講義、ビジネス・インターンシップ、ボランティア実習等、様々な「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトとした教育実践を更に発展させます。
 - 3) 信州大学経済学部は、自発的自立的学習を支援し、少人数教育を中心とする相互交流型の教育を実践します。
 - 4) 信州大学経済学部は、既に仕事を持つ社会人に対して、自らの職業能力の高度化を図るためのインタラクティブな教育研究支援を行い、高度職業人を養成します。
 - 5) 信州大学経済学部は、高度専門教育と教育実践から得られた成果を広く地域・社会に還元すべく、生涯教育に対する教育体制を強化します。

求める学生像

信州大学経済学部は、学部の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生諸君を求めています。

- 1) 経済と社会のあり方や、それが直面する諸問題に幅広い関心を抱き、ものごとの本質をとらえようとする意欲をもつ人
- 2) たゆまぬ探究心をもって知性を磨き、かたよらない視点から問題解決をめざす意欲をもつ人
- 3) 自分の考えを練り上げ、明晰な表現を通じ説得する能力を身につけようとする意欲をもつ人
- 4) 他者への思いやりと社会における公正を大切に、自立した社会人として職業を通じ社会に貢献しようとする強い意志をもつ人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。

同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要とされます。

数学は、社会科学の諸現象の数理的解析のために必要です。また、法学も含めた論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。

また、新聞・ニュース報道等を通じて、経済学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するための基礎としての科目、例えば地理歴史・公民なども学んで入学することを希望します。

(4) 理学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/>)

理 念

理学部は知的好奇心探求の場です。

その基本理念は、自然界の多種多様な現象を詳細に検討し、その中に存在する法則性を探求することにあります。

信州大学理学部では、この理学の基本理念と信州大学の理念に基づいて、

- ・ 信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。
- ・ 知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成に役立っています。
- ・ 世界の多様な自然、文化、思想を理解し、受け入れ、共に生きる若者を育てます。
- ・ 個性を大切にすると共に、専門分野を越えた広い視野と、柔軟な適応性を養います。
- ・ 研究の成果を人々の幸福に役立て、自然の尊厳を傷つけるために使うことのないよう責任を持ちます。

教育目標

自然界の多種多様な現象に常に知的好奇心と探究心を抱く人材を育てます。

それぞれの専門分野についての深い知識を有するとともに、専門分野を越えた課題にも柔軟に対処できる、広い視野と適応性を兼ね備えた、社会に役立つ人材を育てます。

信州の優れた自然を体験的に教材として利用し、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる後継者の育成に努めます。

求める学生像

- ・ 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する人
- ・ 自然を愛し、自然との共生を実践しようとする人
- ・ 自然界の多種多様な現象に対する知的好奇心や探究心が旺盛な人
- ・ 専門分野を越えた広くかつ長期的な視野で、人類社会に貢献したいと考える人
- ・ 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民で学習したことを身に付けている人

学 科	十分な学習が望まれる教科・科目等
数理・自然情報科学科	数学（Ⅲ，Cまで）
物 理 科 学 科	物理，数学（Ⅲ，Cまで）
化 学 科	化学，物理，数学（Ⅲ，Cまで）
地 質 科 学 科	理科（物理，化学，生物，地学など）から2科目以上
生 物 科 学 科	生物
物 質 循 環 学 科	理科（物理，化学，生物，地学）から2科目以上

(5) 医学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

理 念

豊かな人間性、広い学問的視野と課題探求能力を身につけた臨床医、医療技術者や医学研究者などを育成するとともに、高度で個性的な医科学研究を行います。医科学の教育・研究と医療活動を発展させることによって地域貢献を果たし、国際交流に寄与します。

教育目標

- 1) 医に携わる者としての基本的な知識・技能・態度を修得させる。
- 2) 医学的問題点の把握と自発的に解決する能力を培う。
- 3) 豊かな人間性と医に携わる者としての倫理観を育てる。
- 4) 幅広い教養教育を通して、人間としての教養をたかめる。
- 5) 国際交流ができる外国語能力を育成する。

医学科の求める学生像

医学科ではこんな人を求めています。

- 1) 医師となる明確な目的意識を持っていること
- 2) 医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力があること
- 3) 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っていること
- 4) 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っていること
- 5) 将来の人類のために創造的な医学研究を志向する探求心を持っていること

上記を満たすために、高等学校では以下の科目を身につけていることが望まれます。

- ① 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学Cについての十分な知識・技能と数学的思考法
- ② 理科：物理，化学，生物，地学についての基礎的知識と科学的な思考力
- ③ 地理歴史，公民：世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治経済についての基礎的知識と社会的素養
- ④ 国語：十分な読解力，思考力，表現力
- ⑤ 英語：十分な読解力，表現力，会話能力
- ⑥ 特別活動及び課外活動を通じた自主的，協調的な態度や思いやりと奉仕の心

保健学科の求める学生像

保健学科は専門性の異なる看護学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻で構成されています。保健・医療においては専門性を追求するだけでなく、刻々と変化していく社会情勢や科学に対応し、様々な職種間の連携をとることが必要です。

このため、保健学科は、次のような資質を備えた学生を強く望んでいます。

- 1) “人”に深い関心と思いやりを持ちうる人
- 2) 絶え間なく進歩する科学を理解・適用していくための基礎学力と論理的能力のある人
- 3) 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たそうとする意欲のある人

保健学科に入学するまでに学んでほしいこと

保健・医療・福祉領域における医療職者の役割は、拡大し、多様化してきました。医療職者には、人間の命の尊さを真摯に理解し、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により、社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため、保健学科に入学するまでに高等学校等において次のようなことを身につけていることが望まれます。

- 1) 国語・英語に関しては、基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
- 2) 数学に関しては、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の知識と論理的思考方法
- 3) 理科に関しては、「物理」、「化学」、「生物」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
- 4) 地理歴史・公民に関しては、刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
- 5) 特別活動及び課外活動等を通じた自主的、協調的な態度や思いやりと奉仕の心

(6) 工学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

理 念

本学部は、恵まれた自然環境の中で個性を生かし、基礎的学力の素養のもとに工学の幅広い専門的知識を有する創造性豊かな人材を養成します。

また、工学技術と環境保全との調和に深く関心を持って人類社会に貢献し、高度情報化社会における学際的技術の研究開発や国際化に対応できる人材を育成します。

教育目標

本学部は、基礎学力の向上を重視しつつ専門並びに学際分野の知識の修得を基盤にし、創造力の育成と課題探求能力および工学的問題解決能力を開発する教育を行います。さらに、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力を有し、専門基礎知識に基づいた発展的な議論を展開できる能力を育成します。また、地球環境保全などに対する技術者倫理をそなえ、国際的視野に立ってさまざまな分野で貢献できるための行動力や自立心を有する人材を養成します。

求める学生像

- 1) 向上心があり、自ら考え行動することができる人
- 2) 数学、物理学、化学、語学などの基礎を身につけている人
- 3) 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持っている人
- 4) 高度な科学や技術の発展に興味をもち、それを学びたいと考えている人
- 5) 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 6) 将来、工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する意欲を持つ人
- 7) 科学技術・工学の発展が社会にもたらす影響について十分に考え、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人

[大学入学までに履修すべき教科・科目]

各高等学校が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

理科：物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

英語：英語Ⅰ、英語Ⅱ、オーラルコミュニケーション、リーディング、ライティング

※上記科目を履修していない場合には、入学時までに科目の内容を理解していることが望まれます。

(7) 農学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

理 念

自然豊かな環境のもとで、豊かな人間性と幅広い教養を築き、農学に関する広い知識・技術を涵養して、専門的な知識や研究能力を養成します。さらに、地球的な広い視野と現実的な視点に立つて問題をとらえ解決する能力を持つ人材を育成します。

教育目標

- 1) 持続的社会的創造に貢献する人間性豊かな人材の育成
- 2) 社会の一員としての問題意識の醸成と実践性、倫理性、国際性を備えた人材の育成

- 3) 農学分野の基礎能力と応用能力を持つ人材の養成
- 4) フィールド研究と実験研究が連携する教育の実践

求める学生像

自然と人が共生する持続的社会的創造を目指す人を求めています。食料生産、持続的農林業、森林と田園環境の保全、生命現象、食と健康に関わる課題探求に意欲的に取り組み、「食と緑」の科学を展開して社会に貢献する熱意ある人を歓迎します。

※ 食料生産科学科及び応用生命科学科については、入学前に化学及び生物を十分に学習しておくことが望まれます。

森林科学科については、入学前に数学Ⅱを十分に学習しておくことが望まれます。また、入学後の学修・研究の目標設定のため、理科及び地理歴史・公民について総合的に学習しておくことが望まれます。

(8) 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

理念

豊かな自然に抱かれた本学部は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。さらに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

教育目標

- 1) 優れた人格の形成
 - 豊かな人間性 ●社会に対する貢献と責任意識 ●高い倫理観
- 2) 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
 - 課題設定・探求能力 ●普遍的基礎学力 ●学際・業際領域を開く創造的能力
 - 自己啓発能力 ●チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
- 3) 基礎学力に裏付けされた専門性
 - 専門的能力 ●実践的能力 ●経営・企画等能力（マネジメント能力）
- 4) 国際性
 - 自国文化・異文化理解力 ●外国語能力と個性豊かな表現力
- 5) 情報処理能力

以上を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

求める学生像

繊維学部では次のような学生を求めます。

- 1) 高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持つ学生
- 2) 明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
- 3) 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

各高等学校が定める教育課程表に従い、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民等、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

・普通科の場合

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

理科：繊維・感性工学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

機械・ロボット学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ

化学・材料系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

応用生物科学系 … 生物Ⅰ、生物Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

・普通科以外の場合

各高等学校の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

Ⅱ 私費外国人留学生募集要項

外国人であって、私費により本学で勉学しようとする方には、一般の入試方法とは別に特別な入試を行います。

(注) 外国人であっても、日本の高等学校を卒業した方は、一般志願者と同様の扱いになり、この入試には該当しませんので、特に注意してください。

1. 募集人員

学 部	学 科・課程等		募 集 人 員
人文学部	人 文 学 科		若干人
教育学部	学校教育 教員養成 課程	現代教育コース	各若干人
		国語教育コース	
		英語教育コース	
		社会科教育コース	
		数学教育コース	
		理科教育コース	
		音楽教育コース	
		図画工作・美術教育コース	
		保健体育コース	
	ものづくり・技術教育コース		
	特別支援学校教員養成課程		
生涯スポ ーツ課程	地域スポーツコース		
	野外教育コース		
	教育カウンセリング課程		
経済学部	経 済 学 科		各若干人
	経済システム法学科		
理学部	数理・自然情報科学科		各若干人
	物理科学科		
	化学科		
	地質科学科		
	生物科学科		
	物質循環学科		
医学部	医 学 科		各若干人
	保健学科	看護学専攻	
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
	作業療法学専攻		
工学部	機械システム工学科		各若干人
	電気電子工学科		
	土木工学科		
	建築学科		
	物質工学科		
	情報工学科		
農学部	環境機能工学科		各若干人
	食料生産科学科		
	森林科学科		
	応用生命科学科		
繊維学部	繊維・感性 工学系	先進繊維工学課程	各若干人
		感性工学課程	
	機械・ロボット学系		
	化学・材料系		
	応用生物科学系		

2. 出願資格

日本の国籍を有しない方のうち、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより大学入学に支障のない在留資格を有する方又は取得することが可能な方であり、平成 25 年度日本留学試験を受験し、かつ 2012 年～2013 年の間に TOEIC 又は TOEFL を受験している方で、次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方とします。

ただし、教育学部、工学部建築学科及び農学部森林科学科への出願については、TOEIC 又は TOEFL を受験していることを要しません。

(1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した方又は平成 26 年 (2014 年)3 月 31 日までに修了見込みの方、及びこれらに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの

上記 12 年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において、最終学年を含めて 2 学年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

なお、外国においてその国の学校教育制度に基づかない学校に在学した方については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。

また、「これらに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの」に該当する方は、次のとおりです。

① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む。) に合格した方で、平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了〔これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定 (国の検定に準ずるものを含む。) の合格を含む。〕した後、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した方又は修了見込みの方であり、かつ、平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方で、平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方で、平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方で、平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

(注) 出願資格及び出願資格を証明する書類等について疑問がある場合は、出願する前になるべく早く「3 (3) 出願書類等提出先」の各学部入試事務室にお問い合わせください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

人文学部	平成26年1月 6日 (月) ～ 1月10日 (金) (消印有効)
教育学部	平成26年1月27日 (月) ～ 2月 5日 (水) (必着)
経済学部	平成26年1月 7日 (火) ～ 1月15日 (水) (消印有効)
理学部	平成26年1月20日 (月) ～ 1月24日 (金) (消印有効)
医学部	平成26年1月 6日 (月) ～ 1月10日 (金) (必着)
工学部	平成26年1月16日 (木) ～ 1月23日 (木) (必着)
農学部	平成26年1月27日 (月) ～ 2月 5日 (水) (消印有効)
繊維学部	平成26年1月27日 (月) ～ 2月 5日 (水) (必着)

※ 郵送による受付：人文学部、経済学部、理学部、農学部は、出願期間最終日の消印があるものは受け付けます。教育学部、医学部、工学部及び繊維学部は出願期間最終日までに必着とします。

※ 持参による受付：8 時 30 分から 17 時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は、受け付けません。(医学部は郵送のみ。)

(2) 出願方法

出願書類等は、この募集要項に添付する封筒に一括して入れ、出願期間内に志望する学部へ郵送又は持参してください。(医学部は郵送のみ。)

なお、郵送する場合は「書留速達」(日本国外からは EMS) に限ります。

(3) 出願書類等提出先

提 出 先		問い合わせ先 (電話)
人文学部 入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	0263-37-3458
経済学部 入試事務室		0263-37-3312
理学部 入試事務室		0263-37-2439
医学部医学科入試事務室		0263-37-2580
医学部保健学科入試事務室		0263-37-2357
教育学部 入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	026-238-4044
工学部 入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	026-269-5055
農学部 入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	0265-77-1310
繊維学部 入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	0268-21-5310

(4) 出願書類等

	出 願 書 類 等	摘 要
1	入 学 志 願 票 (私費外国人留学生用)	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。裏面の履歴書も必ず記入してください。 (注)「入学志願票」の記入に当たっては、22 ページの「IV 入学志願票の記入例」を参照してください。
2	受 験 票 票 写 真 真 (私費外国人留学生用)	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真(縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。)を指定欄に貼ってください。検査場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。受験票、写真票とも同じ写真を使用してください。
3	「住民票の写し」 又は 「パスポート」の写し	現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの)1通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」の写し(氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分)を提出してください。
4	◎ 修 了 証 明 書 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願要件(1)に該当する方 修了証明書(又は修了見込証明書)及び成績証明書:各1通 ※ これが得られない志願者は、出願資格及び成績を証明する書類を提出してください。 ※ 必ず原本を提出してください。写しを提出する場合は、大使館等公的機関での原本証明もしくは公証されたものを提出してください。写しのみ提出は受け付けません。 ・ 出願要件(1)の①に該当する方 合格証明書及び成績証明書:各1通 ・ 出願要件(1)の②に該当する方 外国において、高等学校に対応する学校の修了証明書(認定試験合格者は合格証明書):1通 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の修了証明書(又は修了見込証明書)及び成績証明書:各1通 ・ 出願要件(2)に該当する方 国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証明書(International Baccalaureate Diploma)の写し及び最終試験の成績証明書:各1通 ・ 出願要件(3)に該当する方 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し:1通 ・ 出願要件(4)に該当する方 バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し及びバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)の写し:各1通 なお、資格証書が未発行の場合はバカロレア資格試験成績証明書に代えることができます。

5	日本留学試験受験票の写し	平成 25 年度日本留学試験受験票の写し																																
6	出 願 理 由 書	日本語で 1,000 字程度に本人が書いたもの（経済学部以外は様式自由。経済学部は【出願書類等記入上の注意】7 を参照してください。）																																
7	入学検定料納付確認書 (A票)	<p>① 入学検定料 17,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して④に記載の各学部の振込期間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。 なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。 また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄には、各学部の出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。</p> <p>④ 各学部の振込期間は下記のとおりです。 人文学部 平成25年12月24日（火）～平成26年 1月10日（金） 教育学部 平成26年 1月20日（月）～平成26年 2月 5日（水） 経済学部 平成25年12月24日（火）～平成26年 1月15日（水） 理 学 部 平成26年 1月14日（火）～平成26年 1月24日（金） 医 学 部 平成25年12月24日（火）～平成26年 1月10日（金） 工 学 部 平成26年 1月 9日（木）～平成26年 1月23日（木） 農 学 部 平成26年 1月20日（月）～平成26年 2月 5日（水） 繊維学部 平成26年 1月20日（月）～平成26年 2月 5日（水）</p> <p>※ 日本国外からの振込をご希望の方は、以下の方法により振り込んでください。</p> <p>① 入学検定料 17,000 円＋手数料（自国で発生する送金手数料（0～3,000 円程度）及び日本国内円為替取引手数料（2,500 円程度））をご用意ください。</p> <p>② 手数料を依頼人負担 (APPLICANT) とし、入学検定料を電信送金 (Telegraphic Transfer) によって下記口座に振り込んでください。 依頼人負担 (APPLICANT) の指定を行わない場合、手数料を差引いた残額しか入金されないため入学検定料不足となり、出願を受理することはできませんのでご注意ください。</p> <table border="1"> <tr> <td>銀行名</td> <td>みずほ銀行</td> <td>Mizuho Bank</td> </tr> <tr> <td>支店名</td> <td>松本支店</td> <td>Matsumoto Branch</td> </tr> <tr> <td>銀行住所</td> <td>〒390-0811 日本国長野県 松本市中央 2-5-8</td> <td>2-5-8, Chuoh, Matsumoto-shi, Nagano, 390-0811, Japan</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>0263-32-2715</td> <td>+81-263-32-2715</td> </tr> <tr> <td>預金種別</td> <td>普通預金口座</td> <td rowspan="2">Savings Account 1752813</td> </tr> <tr> <td>口座番号</td> <td>1752813</td> </tr> <tr> <td>口座名義</td> <td>国立大学法人信州大学</td> <td>National University</td> </tr> <tr> <td>カナ名義</td> <td>コクリツタダイガクホウジン シンシュウダイガク</td> <td>Corporations Shinshu University</td> </tr> <tr> <td>SWIFT Code</td> <td></td> <td>MHBK JPJT</td> </tr> <tr> <td>送金目的</td> <td>入学検定料</td> <td>Screening Fee</td> </tr> <tr> <td>連絡事項</td> <td colspan="2">志望学部名、志願者氏名、電話番号及びメールアドレスを記入してください。</td> </tr> </table> <p>③ 振込み後、「外国送金依頼書（送金銀行の受領印またはサイン入り）」の写しを他の出願書類に同封し提出してください。なお、原本は大切に保管してください。</p> <p>④ 入金確認等に時間がかかる場合があるため、日本国外からの振込期限は学部ごとに以下のとおりとします。 人文学部 平成26年1月 3日まで 医 学 部 平成26年1月 3日まで 教育学部 平成26年1月29日まで 工 学 部 平成26年1月16日まで 経済学部 平成26年1月 8日まで 農 学 部 平成26年1月29日まで 理 学 部 平成26年1月17日まで 繊維学部 平成26年1月29日まで</p>	銀行名	みずほ銀行	Mizuho Bank	支店名	松本支店	Matsumoto Branch	銀行住所	〒390-0811 日本国長野県 松本市中央 2-5-8	2-5-8, Chuoh, Matsumoto-shi, Nagano, 390-0811, Japan	電話番号	0263-32-2715	+81-263-32-2715	預金種別	普通預金口座	Savings Account 1752813	口座番号	1752813	口座名義	国立大学法人信州大学	National University	カナ名義	コクリツタダイガクホウジン シンシュウダイガク	Corporations Shinshu University	SWIFT Code		MHBK JPJT	送金目的	入学検定料	Screening Fee	連絡事項	志望学部名、志願者氏名、電話番号及びメールアドレスを記入してください。	
銀行名	みずほ銀行	Mizuho Bank																																
支店名	松本支店	Matsumoto Branch																																
銀行住所	〒390-0811 日本国長野県 松本市中央 2-5-8	2-5-8, Chuoh, Matsumoto-shi, Nagano, 390-0811, Japan																																
電話番号	0263-32-2715	+81-263-32-2715																																
預金種別	普通預金口座	Savings Account 1752813																																
口座番号	1752813																																	
口座名義	国立大学法人信州大学	National University																																
カナ名義	コクリツタダイガクホウジン シンシュウダイガク	Corporations Shinshu University																																
SWIFT Code		MHBK JPJT																																
送金目的	入学検定料	Screening Fee																																
連絡事項	志望学部名、志願者氏名、電話番号及びメールアドレスを記入してください。																																	

8	受験票等送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内に居住する方は、この募集要項に添付する封筒に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し 360 円分の切手(速達料を含む。)を貼ってください。 日本国外に居住する方は、受験日以前に志願した学部の入試事務室に出向き、直接受験票等を受け取ってください。
9	ラベル票	この募集要項に添付する用紙に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
10	◎推薦書 (人文学部, 医学部医学科)	自国政府、駐日外国公館等又は在籍若しくは出身の学校長が発行したもの。 < 1 通 (様式自由) >
11	TOEIC, TOEFL の成績認定証明書 (人文学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 工学部 (機械システム工学科, 電気電子工学科, 土木工学科, 物質工学科, 情報工学科, 環境機能工学科), 農学部 (食料生産科学科, 応用生命科学科), 繊維学部)	<p>2012 年～2013 年に受験した TOEIC, TOEFL (PBT/ iBT) のいずれか一つについて、以下の成績認定証明書の原本を提出してください。本学で写しをとった後、受験票等送付用返信封筒に同封して返送します。</p> <p>TOEIC : Official Score Certificate (公式認定証) TOEFL : Examinee Score Report (郵送による受験者用控えスコア)</p>
12	実技検査 (音楽) 受験曲目届及び声楽の伴奏用楽譜 (教育学部)	<p>教育学部音楽教育コース志願者は、次のとおり提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技検査 (音楽) 受験曲目届 (全員) ・「必須」声楽の伴奏用楽譜 (全員) ・「選択」声楽の伴奏用楽譜 (声楽を選択する方のみ) <p>(15 ページを参照してください。)</p>
	実技検査 (美術) 受験種目届 (教育学部)	教育学部図画工作・美術教育コース志願者のうち実技検査を選択受験する方は、提出してください。(15 ページを参照してください。)
	実技検査 (運動) 選択種目届 (教育学部)	教育学部保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コース志願者は、提出してください。(16 ページを参照してください。)
13	志願調書 (医学部医学科)	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。

【出願書類等記入上の注意】

1. 指定用紙及び封筒は出願書類等郵送用封筒に同封されています。
2. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
3. 学部によって記入事項が異なる場合もありますので注意してください。
4. 誤って記入した場合は、誤った箇所を二重線で消し、訂正してください。
5. ※印欄は記入しないでください。
6. 上記のうち、◎印を付した書類については、自国の公的機関で証明された日本語訳を添付してください。なお、日本語訳を添付できない場合は、英語、ドイツ語、フランス語で記したもののほかは、これらのいずれかに訳されたものでも結構です。ただし、教育学部、医学部及び工学部に出願する方については、日本語訳以外は認めません。
7. ① A4用紙に横書きで記入してください。手書きでもワープロでもかまいません。
② 現在関心を持っている経済、法律、政治等に関する社会的事柄について、自分の考え、意見、疑問等を述べた上で、入学後どのように勉学に取り組みたいと考えているかを記述してください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 受理した出願書類及び検定料は、どのような事由があってもお返しできません。
なお、検定料を振り込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、本人の請求により納入された検定料 (二重に振り込んだ場合は重複して納入された分) の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ (入試情報/入学検定料返還手続) をご覧ください。
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
- ③ 出願書類等の志望学部、学科、課程、コース、専攻、系及び受験科目の変更は、認めません。
- ④ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑤ 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに志願した学部の入試事務室に届け出てください。

4. 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、下表の結果を総合して行います。

学部・学科	平成 25 年度 日本 留 学 試 験								TOEIC, TOEFL	本学が実施する学力検査等		
	日本語	総合科目	数学	理科	備考	基礎学力出題言語	成績利用					
人文学部	○	○	コース自由	-	-	-		日本語	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	小論文面接	
教育学部	○	○	コース自由	2科目自由選択		総合科目か理科を選択		自由選択	6月/11月 ※1	-	一般入試(前期日程)の教科・科目等及び面接 ※3	
経済学部	○	○	コース自由	-	-	-		自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	小論文面接	
理学部	○	-	コース2	2科目自由選択		自由選択		自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	面接 ※4	
				数理・自然情報科学科	○							1科目自由選択
				物理科学科								2科目自由選択
				化学科	2科目自由選択							
				地質科学科	2科目自由選択							
生物科学科	1科目自由選択	○										
物質循環学科	2科目自由選択											
医学部	○	-	コース2	2科目自由選択				日本語	11月(合計得点が680点以上であること。)	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2 ただし、次に示す得点以上であることを要します。 ・TOEIC 700点 ・TOEFL(PBT) 540点 ・TOEFL(iBT) 72点	一般入試(前期日程)の教科・科目等 ※5	
				保健学科	11月(合計得点が595点以上であること。)				2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	小論文面接		
工学部	○	-	コース2	2科目自由選択				自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	面接 ※4	
				機械システム工学科								
				電気電子工学科								
				土木工学科								
				物質工学科								
情報工学科												
環境機能工学科												
建築学科												
農学部	○	-	コース自由	-	○	○		自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	面接	
				食料生産科学科	2科目自由選択					-		
				森林科学科	2科目自由選択					2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2		
応用生命科学科	2科目自由選択											
繊維学部	○	-	コース2	2科目自由選択				日本語	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/iBT)いずれかのスコア ※2	面接 ※4	

- (注) 1. ○印は当該科目の受験を課すことを示します。
 2. 志望する学部・学科等が指定する「平成25年度日本留学試験」の試験科目を受験していない場合は、不合格となります。
 3. ※1 日本留学試験の成績について、どの回のものを利用するかは、受験者本人の選択によります。利用する回の受験票のコピーを提出してください。
 4. ※2 出願時に、2012年～2013年に受験したTOEIC又はTOEFLの成績認定証明書を提出してください。
 5. ※3 教育学部の一般入試(前期日程)の教科・科目等の内容については、14ページからの【教育学部一般入試(前期日程)の教科・科目等】を参照してください。
 6. ※4 面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。
 7. ※5 医学部医学科の一般入試(前期日程)の教科・科目等の内容については、16ページの【医学部医学科一般入試(前期日程)の教科・科目等の内容】を参照してください。
 8. 日本留学試験については、下記にお問い合わせください。
 独立行政法人 日本学生支援機構(留学生事業部留学試験課)
 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL03-6407-7457 ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

【教育学部 一般入試（前期日程）の教科・科目等】

志望する課程・コースごとに試験教科・科目等（以下「試験科目」という）が指定されます。各課程・コースの指定する試験科目は、次に示すとおりです。志望する課程・コースと受験する試験科目は出願時に決めてください。その後の変更は認めません。ただし、「地理歴史、公民」については、試験当日に受験する試験科目を選択してください。

課 程 ・ コース		試 験 科 目	
学校 教育 教員 養成 課程	現代教育コース	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」 又は 「英語」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択	
	国語教育コース	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」	
	英語教育コース	「英語」	
	社会科教育コース	「地理歴史（世界史B）」、 「地理歴史（日本史B）」、 「地理歴史（地理B）」、 「公民（現代社会）」、 「公民（倫理）」、 「公民（政治・経済）」 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・ 現代文・古典）」、 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C）」、 「英語」 } ※ から1科目又は2科目選択 から1科目選択	
	数学教育コース	「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」	
	理科教育コース	「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）」、 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択 （「数学1科目と理科1科目」、 「理科2科目」のいずれかを選 択）	
	音楽教育コース	「実技検査（音楽）」	
	図画工作・美術教育コース	「実技検査（美術）」 } から1科目選択 「小論文」	
	保健体育コース	「実技検査（運動）」	
	ものづくり・技術教育コース	「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「英語」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）」、 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択 （「数学1科目と理科1科目」、 「理科2科目」のいずれかを選 択）	
	家庭科教育コース	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・ 現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C）」 「英語」 } から1科目選択	
	特別支援学校教員養成課程	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・ 現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C）」 「英語」 } から1科目選択	
	生 涯 ス ポ ーツ 課 程	地域スポーツコース	「実技検査（運動）」
		野外教育コース	「実技検査（運動）」

教育カウンセリング課程	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・ 現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C）」 「英語」	から1科目選択
-------------	--	---------

※ 「地理歴史，公民」は，各科目2題出題の合計12題から2題を選択解答することとします。

注1 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を，数学Cは「行列とその応用」及び「式と曲線」を範囲とします。

注2 英語は「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて，「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を含むものとします。ただし，リスニングテストは課しません。

注3 物理Ⅱは「物質と原子」及び「原子と原子核」の範囲を除きます。

注4 化学Ⅱは「生活と物質」及び「生命と物質」の範囲を除きます。

注5 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

注6 地理Ⅱは，選択分野「地球の探究」，「地球表層の探究」及び「宇宙の探究」のうち「宇宙の探究」を出題範囲から除きます。「地球の探究」及び「地球表層の探究」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

◎実技検査の内容

音楽教育コース

(1) 受験方法

- ① 次の「(2)検査内容」に示された〔必須〕①，②，③の検査すべてを受験し，また，〔選択〕④，⑤，⑥のうちの一つを選択して受験してください。
- ② 受験曲は反復を省略し，暗譜で演奏してください。なお，声楽曲は原語で，オペラのアリアは原調（ただし，慣習的に移調が認められている場合を除く。）で歌ってください。
- ③ 声楽の伴奏用楽譜は，氏名を明記の上，各ページともA4判（30cm×21cm）で簡易製本（屏風形）し，出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお，提出された楽譜は返却しません。
- ④ 管・弦・打楽器は携帯可能な楽器とし，各自持参してください。

(2) 検査内容

〔必須〕

- ① 聴 音：単旋律聴音を1課題（8～12小節）
- ② 声 楽：次の歌曲の中から任意の1曲
 - a. Se tu m'ami G. B. Pergolesi 作曲
 - b. Wiegenlied（第2節まで） J. Brahms 作曲
 - c. かやの木山の 山田 耕筈 作曲， 北原 白秋 作詞
- ③ ピアノ：次のa又はbを選択してください。
 - a. J. S. Bach作曲「インヴェンション」，「シンフォニア」，「平均律クラヴィーア曲集Ⅰ・Ⅱ」（フーガのみは可，プレリュードのみは不可）の中から任意の1曲
 - b. ツェルニー作曲「40番練習曲集 op. 299」，「50番練習曲集op. 740」，ショパン作曲「練習曲集op. 10， op. 25」の中から任意の1曲

〔選 択〕

- ④ 声 楽：イタリア歌曲，ドイツ歌曲，日本歌曲，オペラ・アリアの中から任意の1曲
- ⑤ ピアノ：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から，速度の速い任意の楽章
- ⑥ 管・弦・打楽器（和楽器を含む）：無伴奏のエチュード又は無伴奏の楽曲

(3) 実技検査（音楽）受験曲目届

この募集要項に添付する届出様式1に必要事項を記入し，出願書類と共に提出してください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

図画工作・美術教育コース

(1) 検査内容

次の①，②，③のうちから一つを選択して受験してください。

- ① 石膏デッサン：鉛筆により石膏像をデッサンする。
- ② 色 彩 構 成：ケントボードの枠内に与えられたテーマでポスターカラーにより色彩構成する。
- ③ 立 体 造 形：粘土により立体表現する。

(2) 持ち物

石膏デッサン：鉛筆，消しゴム（練りゴム）
色 彩 構 成：筆，パレット又は絵の具皿，筆洗，鉛筆
立 体 造 形：鉛筆，消しゴム

(3) 実技検査（美術）受験種目届（出願書類と共に提出）

- ① この募集要項に添付する届出様式2を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）
- ② 前記「(1)検査内容」で選択した1種目を記入してください。

保健体育コース・地域スポーツコース・野外教育コース

(1) 検査内容

次のA群・B群から各1種（合計2種目）を選択して実技検査を受験してください。

A群＝1. 器械運動 2. 陸上競技 3. 剣道 4. ダンス

B群＝1. バスケットボール 2. サッカー 3. バレーボール 4. ソフトボール

(2) 実技検査（運動）選択種目届（出願書類と共に提出）

① この募集要項に添付する届出様式3を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

② 選択した種目は、変更できません。また、受験種目の内容についての問い合わせには一切応じられません。

(3) その他

① 実技検査に使用する運動用具に関する注意事項

a. すべての受験者は、トレーニングウェア及び室内用と室外用の両方のシューズを持参してください。

b. 選択した種目を受験するのに必要な運動の服装、用具、シューズ等を持参してください。

・剣道の受験者は、剣道着、防具、竹刀を持参してください。

・ソフトボールの受験者は、グローブを持参してください。

② 事前に健康診断を受けるなど健康管理に留意してください。また、万一の事故に備え、保険証を持参してください。

【医学部医学科 一般入試（前期日程）の教科・科目等】

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
医 学 科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）（※1）
	外国語（英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング）
	小論文（※2）
	面接（※3）

※1 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を、数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除きます。

※2 小論文は、指定された字数内で論述する方式です。

※3 面接は、数名を1グループとして実施します。場合によってさらに個別面接を行うことがあります。

5. 学力検査等の実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

学部等名	期 日	教 科 等	時 間	備 考
人文学部	2月6日（木）	小論文	9:00～11:00	
		面接	13:30～	
教育学部	2月25日（火）	数学、物理、化学、 生物、地学	9:00～11:00	面接は (注)参照
		国語、英語	13:00～14:30	
		地理歴史、公民	15:30～17:00	
	2月26日（水）	実技検査（美術）	9:00～12:00	
		小論文	13:00～14:30	
		実技検査（音楽）、 実技検査（運動）	10:00～17:30頃	
経済学部	2月6日（木）	小論文	13:00～14:30	(注)参照
	2月7日（金）	面接	9:00～	
理学部	2月21日（金）	面接 (基礎学力テストを含む。)	13:00～	
医学部	2月25日（火）	数 学	9:30～12:00	
		外 国 語	13:30～15:00	
		小 論 文	16:00～17:00	
	2月26日（水）	面 接	9:00～	
		小 論 文	9:30～11:00	
		面 接	11:10～	
工学部	2月13日（木）	面接 (基礎学力テストを含む。)	10:00～	
農学部	2月25日（火）	面接	10:00～	
繊維学部	2月21日（金）	面接 (基礎学力テストを含む。)	9:00～	

(注) ① 教育学部の面接は、受験票送付の際に面接時間をお知らせします。

② 経済学部の面接では、出願書類に基づいて社会科学を勉強するための基礎的思考力を判定します。

出願理由書には、現在関心を持っている経済、法律、政治等に関する社会的事柄について、自分の考え、意

見，疑問等を述べた上で，入学後どのように勉学に取り組みたいと考えているかを記述してください。
面接時間は各人によって異なります。2月6日(木)筆記試験終了後，面接時間をお知らせします。

(2) 検査場

20 ページからの「Ⅲ 各学部検査場案内」に掲げる各学部の検査場です。

(注) 受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成 25 年度日本留学試験の受験票」を必ず持参してください。

6. 合格者の発表

学 部	日 時
人文学部	平成26年2月13日(木) 10時
教育学部	平成26年3月 6日(木) 16時
経済学部	平成26年2月12日(水) 16時
理学部	平成26年3月 6日(木) 15時
医学部	平成26年3月 6日(木) 10時
工学部	平成26年2月19日(水) 16時
農学部	平成26年3月 6日(木) 10時
繊維学部	平成26年3月 6日(木) 10時

(注) 各学部とも，当該学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに，同日中に合格者に対して合格通知書及び入学手続書類を発送し，公式発表とします。(不合格の方には通知しません。)

また，信州大学ホームページ(入試情報)にも合格者の受験番号を速報掲載しますが，必ず公式発表を確認してください。

なお，電話やメール等による可否の問い合わせには，応じられません。

ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

7. 入学手続

合格者は，入学手続期間内に入学料を納入するとともに，原則として**郵送**により必要な書類を提出してください。

なお，詳細については，合格通知書に同封しお知らせしますので，必ずご覧ください。

(1) 入学手続期間

人文学部	平成26年3月 7日(金)～3月15日(土)
教育学部	
経済学部	平成26年2月13日(木)～2月28日(金)
理学部	平成26年3月 7日(金)～3月14日(金)
医学部	平成26年3月 7日(金)～3月15日(土)
工学部	平成26年2月20日(木)～2月27日(木)
農学部	平成26年3月 7日(金)～3月15日(土)
繊維学部	

※1 持参する場合の入学手続の受付時間は，8時30分から17時までとします。

※2 土曜日及び日曜日は，受け付けません。ただし，平成26年3月15日(土)は受け付けます。

(2) 入学手続書類提出先

各学部入試事務室(10ページの「3(3)出願書類等提出先」と同じです。)

書類が揃わない等の事情により，郵送では間に合わない方は，入学手続期間最終日の17時まで，各学部入試事務室又は学務部入試課へ直接持参してください。

(3) 入学手続に当たっての注意事項

所定の入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

(4) 提出書類

提出すべき書類の詳細は、合格者に別途通知します。

8. 納付金の納入等

(1) 初年度納付金（入学金・授業料）の額

- ① 入学金 282,000 円
- ② 授業料（前・後期）各 267,900 円 [年額 535,800 円]

(注) 金額は平成 25 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学金・授業料が改定された場合には、改定時から新入学金・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

(2) 既納の入学金は、どのような理由があってもお返しできません。

(3) 入学金・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望される方は合格通知書に同封される入学金免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

9. 障害がある方の事前相談

この選抜により本学に入学を志望する方で、障害（別表参照）があり受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願の前に次の事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。なお、重度の障害がある方は、できる限り早い時期に相談してください。

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害がある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害がある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出の時期

各学部とも願書受付開始日の 1 週間前まで

(2) 書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、学科等（学科等名の後に「私費外国人留学生」と記載してください。）
- ④ 障害の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた修学上の特別な配慮
- ⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL0263-37-2192

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の特別な配慮

提出期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その際にご相談ください。

〈別表〉

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする程度のもの

(参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条)

10. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

開示方法：ホームページ

開示時期：平成 26 年 4 月以降

ホームページアドレス：<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>

(2) 個人情報（試験成績）

教育学部	課程・コース別総合判定ランク区分
繊維学部	面接点、並びに系・課程別判定ランク区分
人文学部 経済学部 理学部 医学部 工学部 農学部	開示しない

開示方法：開示請求による郵送を原則とします。

請求者：原則として受験者本人とします。

請求方法：「入試情報開示請求願」に所要事項を記入し、下記請求先に郵送（又は持参）してください。「入試情報開示請求願」は、本学のホームページ（入試情報／入試成績等の開示）からダウンロードしてください。（<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>）

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒（長形3号(23.5cm×12cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む390円分の切手を貼ったもの）を同封してください。

受付期間：平成26年5月12日（月）～5月23日（金）

※ 郵送の場合は、5月23日の消印有効

※ 持参の場合は、平日の8時30分から17時までとします。

開示時期：平成26年7月中旬以降

開示請求先：信州大学学務部入試課

〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL0263-37-3450

11. その他

- (1) 受験票は、入学手続の際にも必要となりますので、大切に保管してください。
- (2) 入学手続完了者であっても平成26年3月までに入学資格を満たすことができない方は入学を許可しません。
- (3) 外国人留学生の宿舎として、**松本国際交流会館及び長野国際交流会館**があります。詳細は、学務部国際交流課（TEL0263-37-2198）にお問い合わせください。
- (4) この学生募集要項について不明な点がある場合は、各学部入試事務室（裏表紙参照）までお問い合わせください。

Ⅲ 各学部検査場案内

各学部とも以下の検査場で実施します。詳細については、受験票に同封してお知らせします。

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
人文学部 ・ 経済学部 ・ 理学部 ・ 医学部	<p>松本キャンパス 松本市旭3-1-1</p> <p>JR松本駅「お城口（東口）」を出て右前方アリオ1階松本バスターミナルのりば1の“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車（約15分）、理学部及び医学部へは「信州大学前」で、人文学部及び経済学部へは「大学西門」でそれぞれ下車、徒歩約2分。</p> <p>人文学部 TEL 0263-37-3458 経済学部 TEL 0263-37-3312 理学部 TEL 0263-37-2439 医学部医学科 TEL 0263-37-2580 医学部保健学科 TEL 0263-37-2357</p>	

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
教育学部	<p>長野（教育）キャンパス 長野市西長野6の口 Tel 026-238-4044</p> <p>JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス1番のりばから“善光寺・西条経由若槻東条行”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行”“善光寺経由宇木行”のいずれかに乗車（10分）、「大門南」下車，徒歩5分。</p>	
工学部	<p>長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1 Tel 026-269-5055</p> <ul style="list-style-type: none"> JR長野駅東口から徒歩約20分。 JR長野駅東口を出て長野電鉄バス1番のりばから“日赤・水野美術館・アークス行”乗車（5分）、「信大工学部」下車，正門まで徒歩2分。 JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばから“日赤経由大塚南行”乗車（8分）、「信大工学部前」下車，正門まで徒歩5分。 	
農学部	<p>南箕輪キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304 Tel 0265-77-1310</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央道高速バス「中央道伊那インター」，「伊那インター前」下車，徒歩15分。 JR飯田線伊那市駅下車，伊那バスターミナル「伊那営業所」から西箕輪線に乗車（17分）、「大学入口」下車，徒歩5分。路線バスは本数が少ないので，注意してください。 	
繊維学部	<p>上田キャンパス 上田市常田3-15-1 Tel 0268-21-5310</p> <ul style="list-style-type: none"> JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩20分。又はタクシーで5分。 JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て1番のりばから千曲バス“鹿教湯行”“武石行”のいずれかに乗車（5分）、「昭栄前」下車，徒歩5分。 JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て4番のりばから上田バス“市内循環東コース”乗車（5分）、「イオン上田ショッピングセンター前」下車，徒歩5分。 	

IV 入学志願票の記入例

【記入上の注意】

1. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
2. 誤って記入した場合は、誤った箇所を二重線で消し、訂正してください。
3. ※印欄は記入しないでください。
4. 「英字名」欄には、日本留学試験の際に使用した英字名を記入してください。
5. 裏面の履歴書も必ず記入してください。

平成26年度 信州大学入学志願票（私費外国人留学生入試）

志望学部	教育 学部	受験番号	※
志望学科	学科 (専攻) 生涯スポーツ 課程 (野外教育) 系 (課程)	生年月日	19 95 年 5 月 31 日生 (年齢 18 才)
フリガナ	シン シュウ ダイ	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女
氏名 (自国語)	信 州 大	国籍	中 国
英字名	XIN ZHOUDA		

出願資格(1)～(4)のうち、該当する数字を○で囲んでください。(学生募集要項9ページの「2.出願資格」を参照)

出願資格	(1)	出身学校名 (日本語学校ではありません。)	○○○○ 高等学校
		出身学校所在地	国名 中国 住所 ○○○○○○○○○○○○○○○
		修了期	2013 年 6 月 <input checked="" type="radio"/> 修了 ・ 修了見込 ・ 検定合格
	(2)	国際バカロレア資格取得者	
	(3)	アビトゥア資格取得者	
	(4)	バカロレア資格 (フランス共和国) 取得者	

受信場所 (志願者連絡先)	住所	電話番号
	〒 <u>123-4567</u> 長野県○○市○○1-2-3	自宅 0263-77-XXXX 携帯 090-6666-XXXX
E-mail アドレス: ◆◆◆◆◆◆◆◆@■■■■■		

緊急の際の日本国内の連絡先	氏名	本人との関係	住所	電話番号
	信州学	叔父	〒 <u>987-6543</u> 東京都○○区○○3-2-1	自宅 03-3460-XXXX 携帯 090-7777-XXXX
E-mail アドレス: ▲▲▲▲▲▲▲▲@■■■■■				

教育学部 受験科目届

受験科目コード	受験科目
01	国語
02	英語
03	数学 (I・II・III・A・B・C)
05	数学 (I・II・A・B) +物理
06	数学 (I・II・A・B) +化学
07	数学 (I・II・A・B) +生物
08	数学 (I・II・A・B) +地学
13	物理+化学
14	物理+生物
15	物理+地学
16	化学+生物
17	化学+地学
18	生物+地学
20	実技検査 (音楽)
21	実技検査 (美術)
<input checked="" type="radio"/> 22	実技検査 (運動)
28	小論文
29	地理歴史, 公民
	国語
30	地理歴史, 公民
	英語
31	地理歴史, 公民
	数学 (I・II・III・A・B・C)

(注)

1. 教育学部を志望する方は、受験する科目のコードを○で囲んでください。
2. 実技検査 (音楽) を受験する方は別紙「届出様式1」及び音楽の伴奏用楽譜を、実技検査 (美術) を受験する方は別紙「届出様式2」を、実技検査 (運動) を受験する方は別紙「届出様式3」を出願書類と合わせて提出してください。

■ この要項に関する問い合わせ先

人文学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-3458
経済学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3312
理学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2439
医学部医学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2580
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2357
教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL (026) 238-4044
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL (026) 269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL (0265) 77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL (0268) 21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-2192

■ 信州大学ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

■ 携帯電話サイトアドレス <http://daigakujc.jp/shinshu-u/>



発行:信州大学(平成25年11月) 編集:信州大学学務部入試課